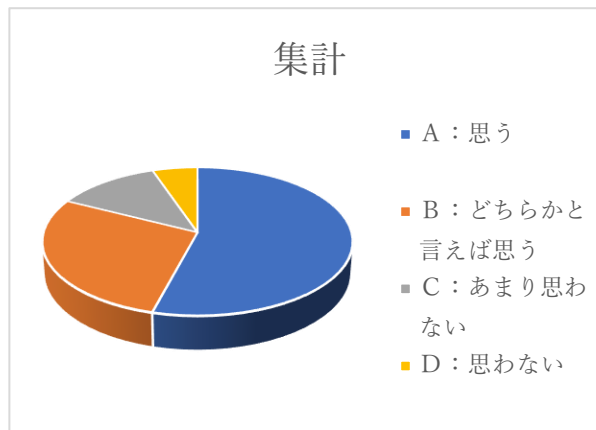


## 下諏訪南小学校 令和6年度 外国語活動に関するアンケート

### 1 児童による自己評価より

英語の学習は楽しく取り組んでいますか。

- 1 思う 54%
- 2 どちらかと言えば思う 28%
- 3 あまり思わない 12%
- 4 思わない 5%



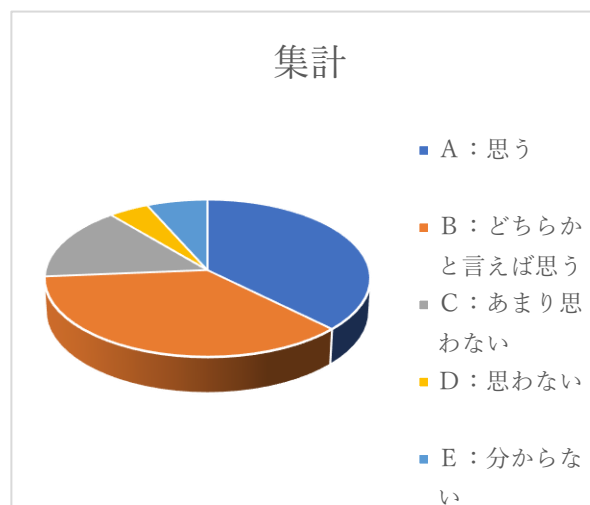
#### 【考察】

8割以上の児童が「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した（保護者は7割以上）。子どもたちが英語に楽しく・抵抗なく取り組めるように、英語の授業では子どもたちの興味がわくような題材の設定や児童が十分に英語を話せる単元展開等、親しみが持てるように工夫してきた成果だと思われる。また、「イングリッシュ チャレンジ デー」といったイベントも要因の一つであると思われる。引き続き子どもたちが楽しく取り組める活動になるよう、指導していきたい。

### 2 保護者による学校自己評価より

お子さんは楽しく英語をお学習していると思えますか。

- 1 そう思う 37%
- 2 どちらかと言えば思う 36%
- 3 あまり思わない 15%
- 4 思わない 4%
- 5 分からない 7%



#### 【考察】

7割以上の方に「思う」「どちらかと言えば思う」と答えていただきました。授業では、英語を聞いたり話したりしたくなるような身近な話題の設定・教材の活用、繰り返しの練習やペア・グループ活動などを通して、児童が十分に発話する機会を持ち、友だちと関わりながら英語に親しめるよう工夫しています。また、English Challenge Day や自分や地域のことを伝える学習など、校内外のELTと交流し、学んだ英語を活用してコミュニケーションをする機会を設定しています。今後も英語を使ったやりとりに対する抵抗感が少しでも和らぐように、各学年や学級の実態にあった工夫をしたり、自分を表現する楽しさを味わえるような授業づくりをしたりしていきたいと思います。

### 3 教職員による学校自己評価より

#### 1 成果

- ・1年生では、チャンツや歌、ゲームなどで英語に慣れ親しむ時間が十分取られているので、耳から自然と英語が体になじんでいくように感じる。
- ・生活の中で「Here you are.」「You are welcome.」など、授業で扱った表現を積極的に使う児童の姿がある。

#### 2 課題

- ・中高学年では教科書を扱うため、座学中心にならないよう、ゲームなどのアクティビティを有効に取り入れることで、低学年から段階的に学習形態・内容を移行している。
- ・学年が上がるにつれて、「英語の授業を楽しく取り組める」と回答する児童が減っていく傾向を感じる。難しさや苦手意識から「英語嫌い」が増えないよう、わかりやすい授業、楽しくなる授業を心がけたい。

### 【資料】 イングリッシュチャレンジデーとは

#### 【English Challenge Day ～ R6.11.8】

日頃英語を学習している子どもたちが、ELTとのあいさつや会話を楽しんだり、説明を聞いたりする活動を通して、これまでの学習が生きてコミュニケーションができる体験をおこない、これからの英語学習への動機付けをすることを目標にしています。

毎年、体育館を会場に、全学年参加の体験活動として位置づけています。